

## ◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、13.75(921例)で、2週連続して減少しています。年齢群別では、重症化しやすい0～4歳、60歳以上の占める割合が増加傾向にあります。京都市衛生環境研究所において、第1～6週に採取した検体から分離検出したインフルエンザウイルスの割合は、AH1pdmが8.1.8%(27例)、AH3型が18.2%(6例)となっています。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、7.25(290例)で、先週に比べやや増加しています。医療機関や社会福祉施設等で集団感染が多発していますので、施設内の消毒、従事者の手洗い励行等の徹底をお願い致します。
- ・ 伝染性紅斑の定点当たり報告数は、0.35(14例)で、この時期の過去5年平均値の2倍以上となっています。本市の過去20年間の推移では、平成3～4年、平成9年、平成13～14年、平成18年と、4～5年周期での流行がみられます(ピーク値 1.27～2.92)。前回の流行から約4年経過した平成22年第33週(8月16日～22日)以降、過去5年平均値を上回る状態が継続していますので、今後の動向にご注意ください。

## ◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成22年の後天性免疫不全症候群の年間報告数は、AIDS患者6例、HIV感染者11例の計17例でした。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 五類:梅毒(早期顕症Ⅱ期) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67、小児科定点40、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	13.75	921
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.25	290
	② 水痘	0.90	36
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	20
	④ 突発性発しん	0.38	15
	⑤ 伝染性紅斑	0.35	14
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

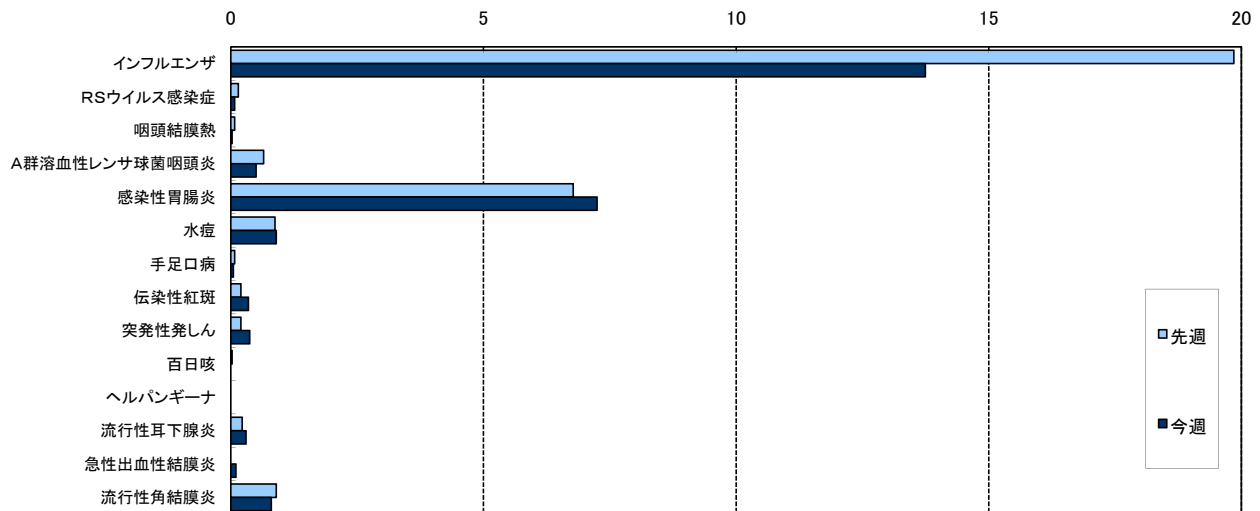
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

(注) 京都市のデータは、平成23年2月17日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

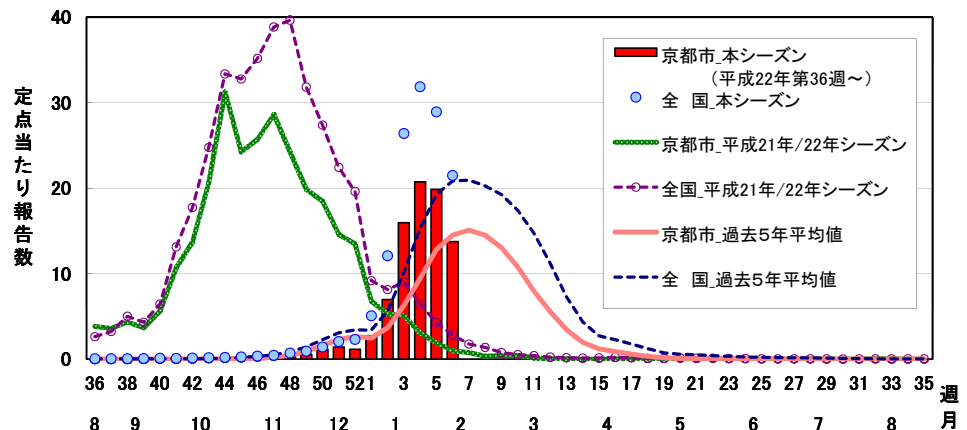
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第6週)と先週(第5週)の定点当たり報告数の比較



## 2 インフルエンザの推移

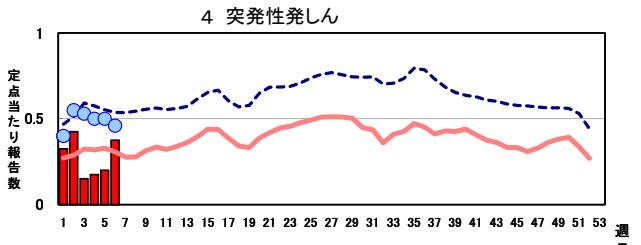
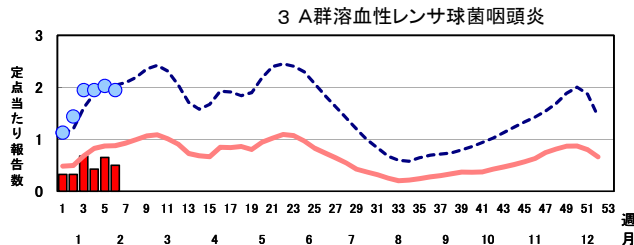
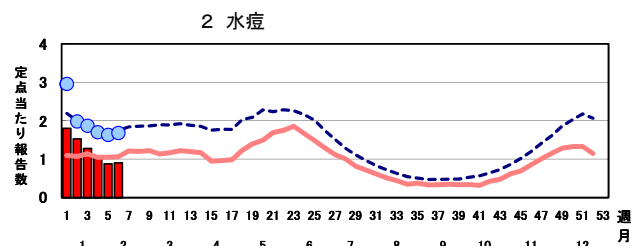
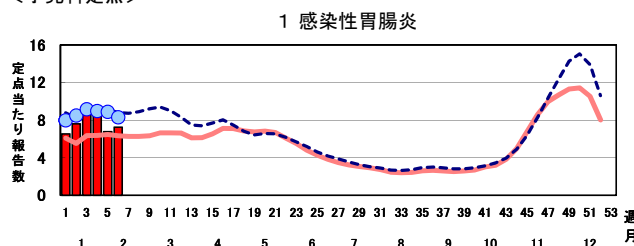
週	報告数(例)
第2週	467
第3週	1,069
第4週	1,389
第5週	1,330
第6週	921
累積報告数 (第36週以降)	5,737



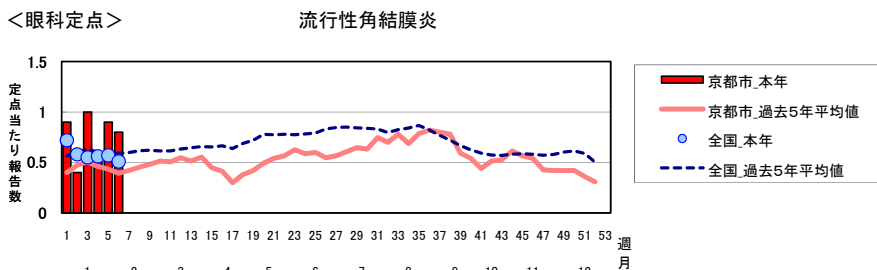
※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。

## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



## 第6週(2月7日～2月13日)トピックス: &lt;後天性免疫不全症候群&gt;

平成22年の後天性免疫不全症候群の年間報告数は、AIDS患者6例、HIV感染者11例の計17例でした。すべて男性で、推定感染地域は、国内が15例、不明が2例です。

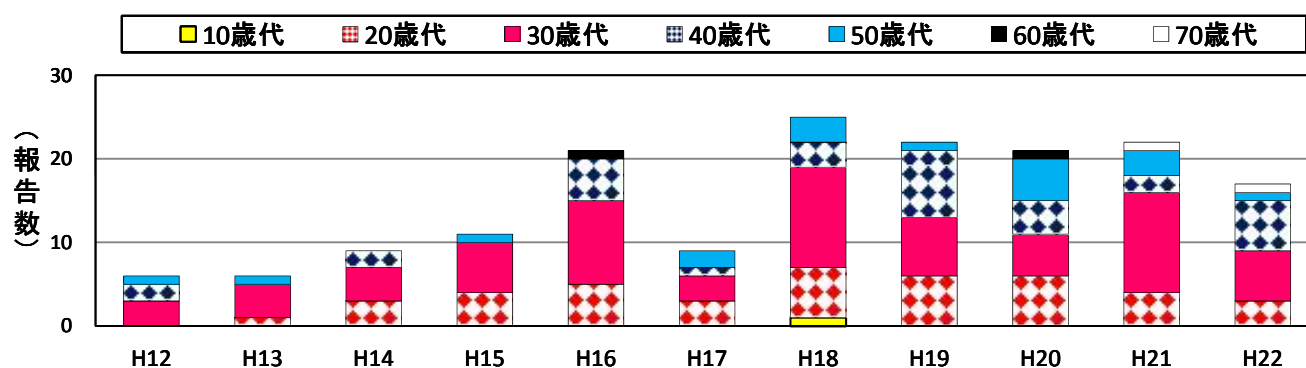
年齢階級別は、AIDS患者で、30歳代 2例、40歳代 3例、50歳代 1例、HIV感染者で、20歳代 3例、30歳代 4例、40歳代 3例、70歳代 1例、後天性免疫不全症候群全体では、30歳代、40歳代が各6例と、報告数が多くなっています。年次別報告数の推移をみると、3年連続で60歳以上での報告があります。

推定感染経路は、性行為感染13例(異性間2例、同性間9例、不明2例)、不明が4例で、年次別報告数の推移をみると、平成17年以降、同性間の性行為感染が最も多く、異性間は減少傾向にあります。

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
総計	169	53	116	156	13

年齢階級別 年次別報告数の推移



推定感染経路別 年次別報告数の推移

